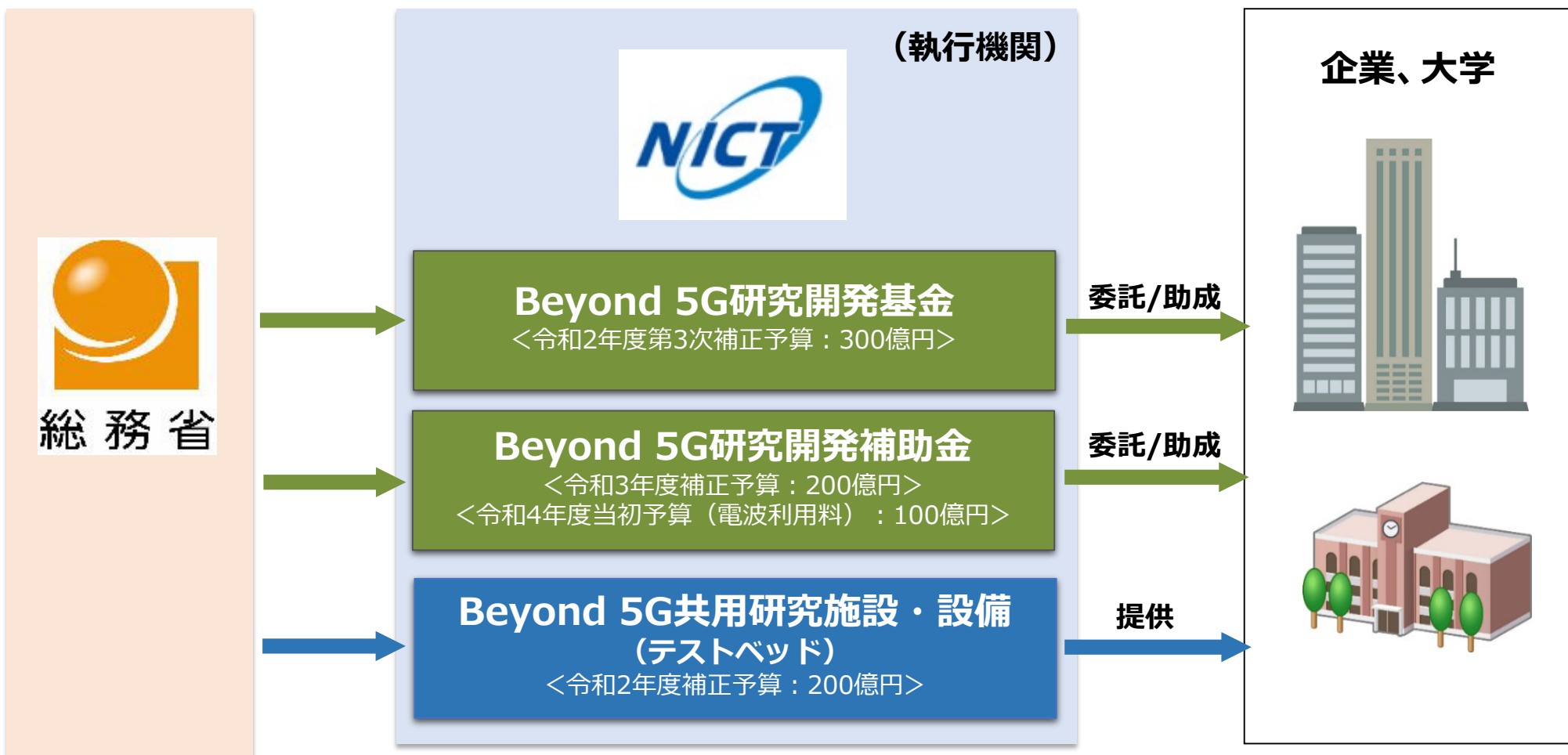


# 総務省におけるBeyond 5Gの研究開発予算

- 総務省では、Beyond 5Gの実現に必要な要素技術を確立するため、「国立研究開発法人情報通信研究機構法の一部を改正する法律」に基づき、**Beyond 5G研究開発の中核機関**で専門的な知見・経験を有する**国立研究開発法人情報通信研究機構**（以下「NICT」）に**研究開発基金**を設置し、**令和2年度第3次補正予算**による研究開発を実施。
- Beyond 5Gの推進に関する政府戦略等を踏まえ、研究開発基金を活用した取組と密接な連携を図りつつ、**令和3年度補正予算**や**令和4年度当初予算**による**研究開発補助金**により**光通信技術**や**無線通信技術**等の研究開発を実施。



# Beyond 5G研究開発促進事業 3つのプログラム

- 執行機関（NICT）が、研究開発プログラムごとに公募を行い、専門家等による評価委員会の評価を経て、研究開発の実施者を決定。

## ① Beyond 5G 機能実現型プログラム

### (i) 基幹課題

開発目標を具体的かつ明確に定めた研究計画を作成し公募。  
ハイレベルな研究開発成果の創出を目標とする。

（目安 ～10億円/年・件）

※重要技術については、年額数十億円程度の予算規模で重点的に措置

### (ii) 一般課題

研究概要のみを定め、当該開発技術に関する提案を広く公募。  
提案者の自由な発想に基づくもの。

（目安 ～5億円/年・件）

## ② Beyond 5G 国際共同研究型プログラム

協調可能な技術分野で戦略的パートナーとの連携による  
Beyond 5G実現に向けた先端的な要素技術の国際共同  
研究開発プロジェクトを推進。（目安 ～1億円/年・件）

## ③ Beyond 5G シーズ創出型プログラム

### (i) 委託

Beyond 5G実現に向けた幅広い多様な研究開発を支援し、  
技術シーズ創出からイノベーションを生み出すプログラムを実施。

（目安 ～1億円/年・件）

### (ii) 助成（革新的ベンチャー等助成プログラム（SBIR））

革新的な技術シーズやアイデアを有しながら、困難な課題に意欲的に挑戦するベンチャー・スタートアップ等の中小企業を対象に助成金を交付。

（1助成事業当たり、1億円程度目安（助成率2/3以下））